

Nチーム通信 2025 第5号

【R7.10.31】

【県民大会に参加しました!!】

10/25、10/26 の両日、船橋市で県民スポーツ大会（略して「県民大会」）が開催されました。今年も市川市からは、男女各代表チームが参加しました。結果は、既に県協会ホームページにアップされていますが、この N 通信では当日のNチーム並びに応援団を含めた周りの方々の活躍も踏まえつつ、お伝えできればと思います。

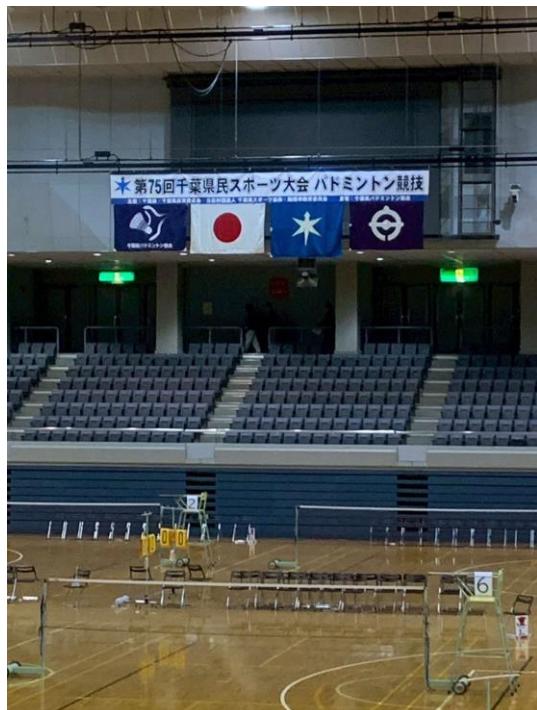
なお、今年の会場は船橋市ということで、市川市のお隣、来場しやすい環境にて、とても助かりました。

初日は男女ともベスト8決めまで行います。昨年度の市川市チームの成績は、男女ともベスト8。まずは初日を勝って、翌日の準々決勝へ進むことが大切です。

（市川市は、男女とも2回戦からの出場）



〔早めに来場、応援団の場所取りです♪〕



Nチーム通信 2025 第5号

【R7.10.31】



[天候不良にも関わらず、理事を始め、応援団も駆けつけました！]

(Dはダブルス、Sがシングル)

女子

初日の女子の対戦相手は、「山武郡市」です。お互い、2回戦からの登場です。

【対山武郡市（2回戦）】

1Dは、長野・大澤組。普段は組むことのない急造ペアですが、ともに女子Nチームの中では実力十分。スムーズなローテーションと、安定感のあるレシーブで上回る市川市ペア。攻守ともに安定しており、2-0で快勝でした。

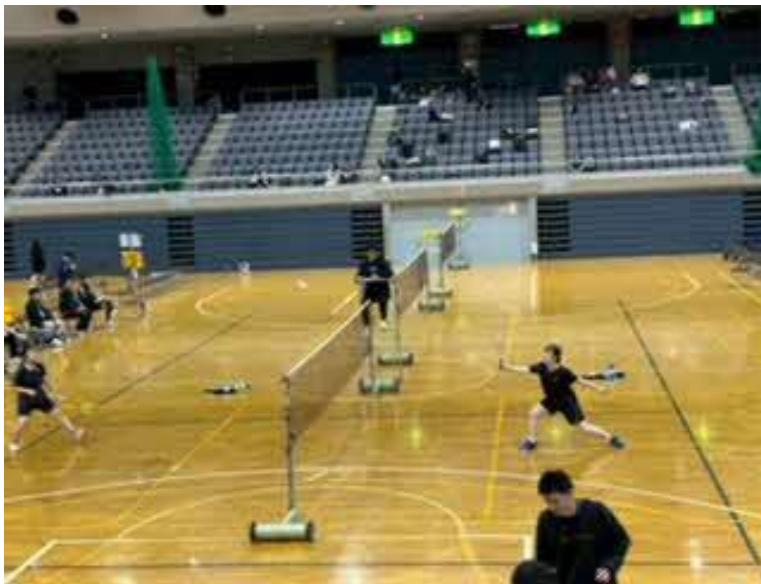


[長野・大澤組、勝利!!]

続くSは、波多野選手。昨年度から県民大会に出ており、実はシングルスも上達しています。今後の市川市を背負うことのできる、いわば期待のホープです。経験値を積んできていることもあり、落ち着いた試合運びと安定した球回しで、2-0で勝利。男子同様、ベスト8を決めました。

Nチーム通信 2025 第5号

【R7.10.31】



初日は2Dも行います。2Dには、村上・美濃組が登場。村上選手は、県民大会の出場歴多数ですが、美濃選手は県民大会のデビュー戦。あの!?美濃さんの娘さんが、親御さんに引き続き、県民大会に参戦です。ただ、大舞台には十分慣れていますので、大きな会場の雰囲気にも負けず、しっかり勝ち切ってくれました。

女子の初日は3ー0で、翌日の準々決勝へ順当に駒を進めることができました。



〔少々遠景ですが、2D(左側)の活躍です!!〕

【対市原市（準々決勝）】

2日目の対戦相手は、「市原市」。東京情報大OGを多数擁し優勝候補でもある、第2シードとの対戦となりました。

オーダーは、昨日と同様での挑戦。1Dに長野・大澤組の出場です。1Dを取らなければ非常に厳しくなる市原市としては、オーダーを崩すことなく、王道の勝負を挑みました。対する市原市は、攻撃力と守備力の高さが非常に光る強者ペア。試合の序盤から、一進一退の質の高い試合が展開されました。結果は、やはり攻撃力とレシー

Nチーム通信 2025 第5号

【R7.10.31】

ブで市原市ペアが上回り、残念ながら0ー2で敗退。

続くSには、昨日の波多野選手に代わり、菊池選手の登場。シングルスでの起用はいわば想定外でしたが、試合が進むにつれ動きが良くなるとともに、スマッシュが随所に決まり、手に汗握る大接戦となります。1ゲームは取られたものの、2ゲームは勢いを取り戻し、勝負の行方はファイナルへ。ファイナルゲームでも勢いは落ちることなく、大きくリードを保ってのエンジニアンド。そのままの流れで勝ち切れるか...と思ったところ、相手が“ゾーン”に入り、一気に同点。それからは、まさにお互いに1点ずつの取り合いとなった結果、あと一歩のところ、19-21で相手選手に軍配が上がり、1ー2での敗退。ですが、大健闘!!間違いなく本大会のMVPでした★

これでチームとしては、0ー2で敗退が決定。2Dには、昨日に引き続き、村上・美濃組の出場を予定していましたが、出番の前に勝敗が決しました。

チームとしての結果は、0ー2で敗退。昨年に引き続き、惜しくもベスト8で終了しました。

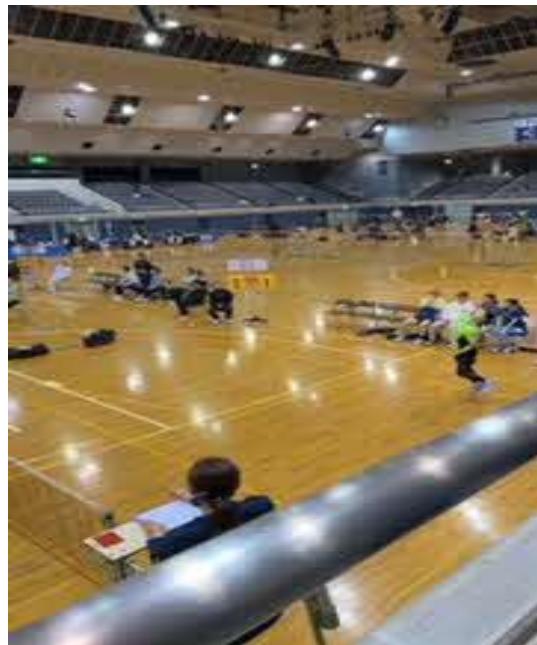
なお、その後、市原市は優勝しましたので、この試合に勝っていれば～という「たられば」も想像していました...



[まもなく試合開始☆]



[奮闘!!]



〔Fight!! 菊池選手〕

男子

初日の対戦相手は、1回戦で浦安市を破った「柏市」でした。

【対柏市（2回戦）】



〔男子もいよいよ
試合開始です!!〕

2D1S 形式の団体戦では、S に強者がいると圧倒的に有利となります。それは、D の組み換えが可能となるからです。柏市には絶対的な S 選手がいますので、市川市としては、まずは 1D を勝つことがチームが勝つための絶対条件となります。

そこで、1D には、平田・八巻組を起用。共に「凌」。2人とも BC 千葉の所属でもあり、コンビネーションも滑らかです、特に、八巻選手の角度とスピードのある攻撃は、シャトルの飛ばない本大会でも非常に有効でした。また、それに呼応するように、平田選手の球回しが光ります。安心して見ていられる2人のプレーは、終始リードし

Nチーム通信 2025 第5号

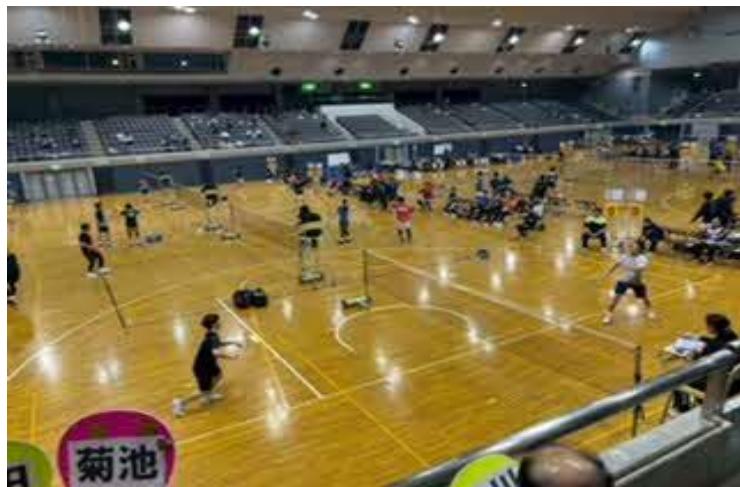
【R7.10.31】

続ける試合運びで、2ー0で快勝でした。



〔2ー0で快勝。次に繋げます。〕

続くSは、今年度よりNチームの一員となり、成長著しい石黒選手。相手は、柏市のシングルエース。スピード感溢れ、かつ攻撃力も高いプレーに石黒選手も必死に食い下がります。



が、シングルプレーヤーとし質では、相手が一歩上。最終的ストレート負けはしましたが、最後まで粘り強く戦う姿勢は、今後の伸び代を予感させるに十分でした。

そして、決戦の舞台は2Dへと引き継がれました。2D勝負は、市川市もですが、柏市としても想定通りのプラン。ここで柏市の2Dには、満を持してエースペアが登場します。

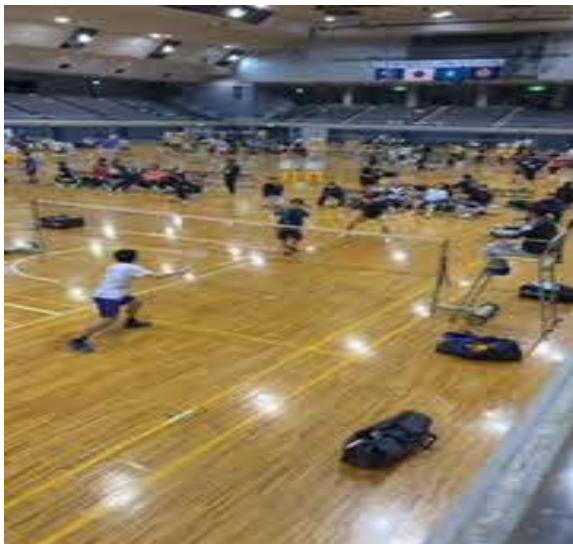
市川市の2Dは、折原・村上組。若さ溢れるプレーの2人に対し、柏市のシニアペアは巧みな配球と、堅いレシーブが持ち味です。

折原・村上組のジャンピングスマッシュが決まる一方で、強烈なカウンターや的確なロングリターンも決められる、まさに一進一退の攻防となります。序盤から、攻守に高いレベルのプレーが展開されるとともに、勝った方が翌日の準々決勝に進めるということで、応援団の声援にも一段と熱が入り、手に汗握る試合展開となりました。

結果、0ー2の敗退で非常に惜しい試合でしたが、とても素晴らしい試合でした!!

Nチーム通信 2025 第5号

【R7.10.31】



チームとしての結果は、0ー2で敗退。残念ながら、昨年のベスト8から一歩後退し、ベスト16で終了しました。

[激戦!! 折原・村上組]

最終結果は、男子がベスト16、女子はベスト8でした。また、男子の優勝は野田市で連覇、女子は市原市でした。

また、前回の成績と比較し、男子は一歩後退と、残念な結果に終わりました。やはり、ベスト8の壁は高く、特に団体戦では、Sに強い選手がいる場合、オーダーに余裕があるので、その点の優位を感じました。

一方で、強いチームは、攻撃力は勿論のこと、非常にレシーブが堅いことも印象的でした。今大会は、外気温の影響もありシャトルが飛ばない傾向にあり、そういう中でも勝ち切る力を持つことが必要だと痛感しました。

なお、今年度も、協会の千葉理事の旗の下、応援団を結成していただき、天候不順にも関わらず、2日間、多くの方に応援していただきました。声援は、選手には大きな力となりました。本当に有難うございました。

応援団が来場し盛り上げている市川市の姿に、最初は戸惑う選手もいましたが、今では意気に感じて、一生懸命頑張る選手の姿が当たり前になってきました。こういった風景が、今後も市川市の『伝統』として定着していくべきないと、改めて感じた次第です。

残念な結果もありましたが、菊池選手のSの奮闘や一致団結した応援団の声援等、非常に嬉しい出来事も沢山ありました。

今後も、年末に松戸市で開催される「アザレア杯（ミックス団体戦）」、令和8年に予定する「市川 Special 大会」「都市リーグ大会」で良い成績が残せるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。

特に、「市川 Special 大会」は、市川市協会主催により塩浜体育館にて開催されます。県内各市等の代表チームが集い、さながら「ミニ県民大会」のレベルでの試合が繰り広げられます。地元・市川市で県トップレベルの試合を観ることが出来ますので、市川市チームの応援がてら、ぜひ観戦にお越しください!!

Nチーム通信 2025 第5号

【R7.10.31】

—今後とも引き続き、ご声援の程、宜しくお願ひいたします—



〔初日の試合終わりに、健闘をたたえて〕

〔文責：強化担当理事 杉町〕